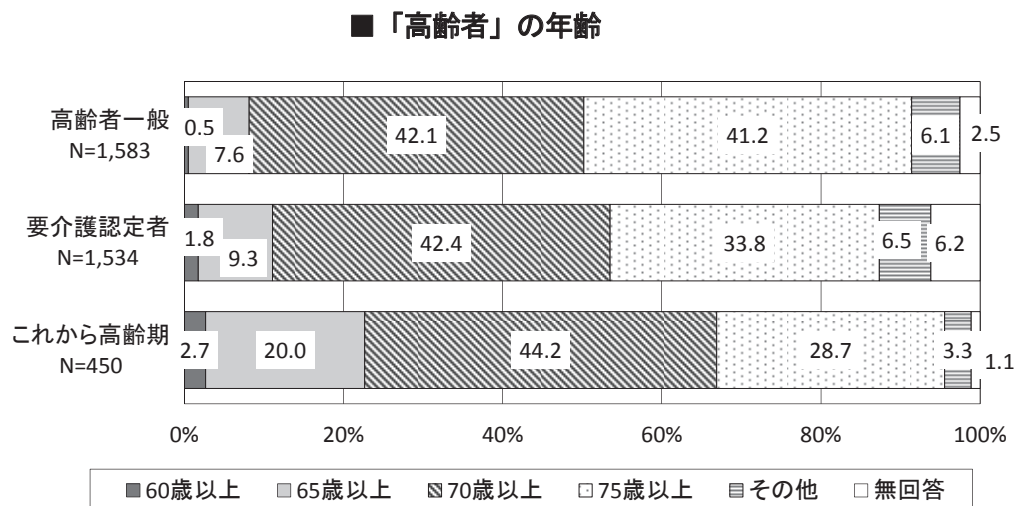


5 社会参加

(1) 高齢者だと思う年齢

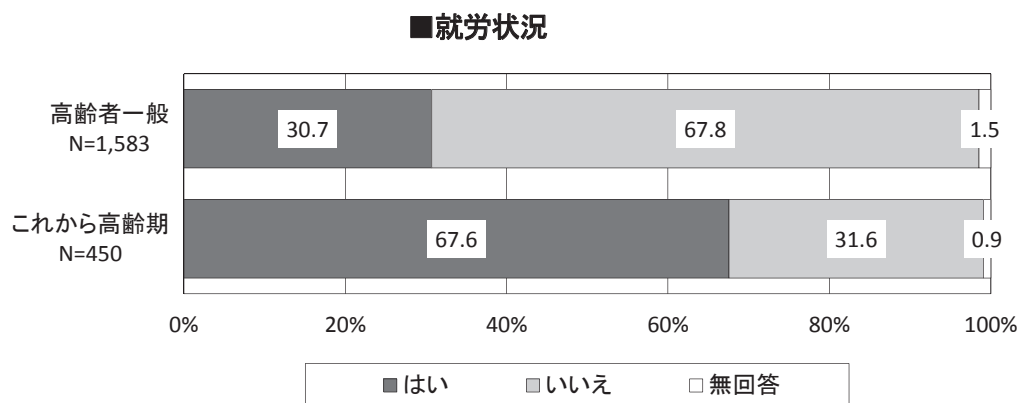
○「何歳以上が高齢者だと思いますか」という問いに対しては、いずれの調査においても「70歳以上」が最も多く、「75歳以上」と回答した人も含めると、「70～75歳以上」が7～8割を占めている。



(2) 就労状況

① 就労状況

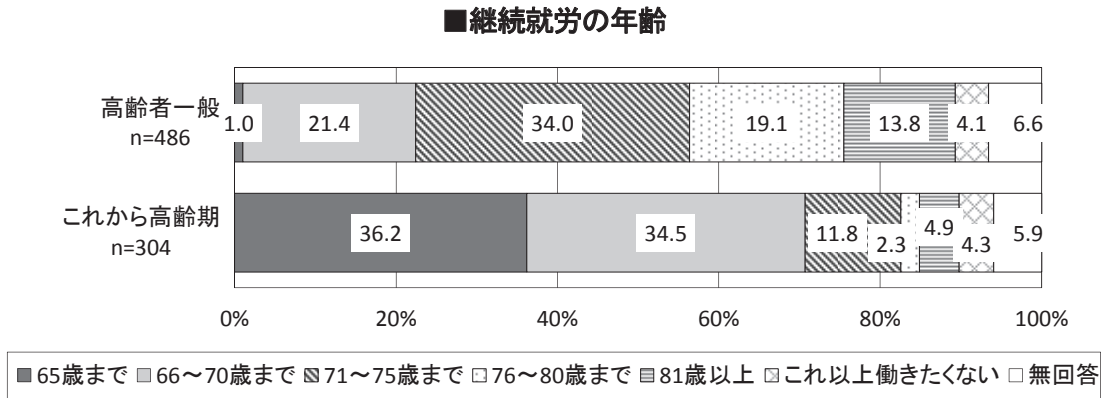
○仕事をしている人は、高齢者一般で30.7%、これから高齢期で67.6%となっている。



② 働き続けたい年齢

○就労状況で「はい（仕事をしている）」と回答した人の働き続けたい年齢は、高齢者一般では「71～75歳まで」が最も多く34.0%、「65歳まで」「66～70歳まで」と回答した人も含めると、「75歳まで」が56.4%となっている。

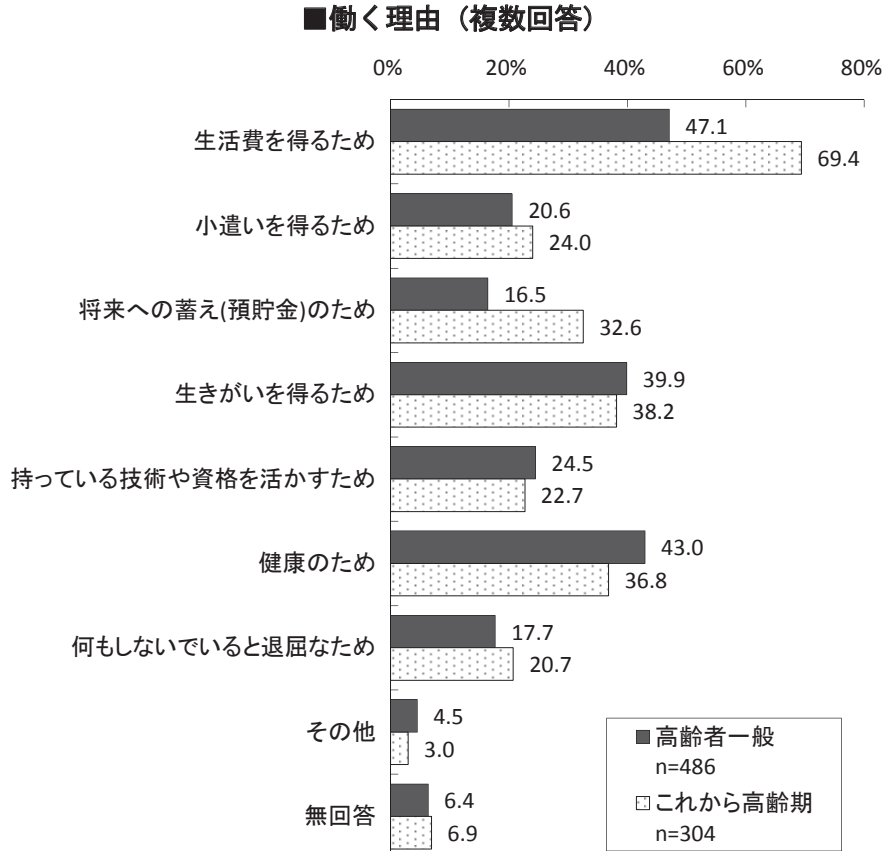
○これから高齢期では、「65歳まで」が最も多く36.2%、「66～70歳まで」（34.5%）もほぼ同じ割合を示している。



③ 働く理由

○就労状況で「はい（仕事をしている）」と回答した人の働く理由は、高齢者一般、これから高齢期ともに「生活費を得るため」が最も多く、それぞれ47.1%、69.4%となっている。

○次いで高齢者一般では、ほぼ同じ割合で「健康のため」（43.0%）が続くのに対し、これから高齢期では「生きがいを得るため」（38.2%）となっている。

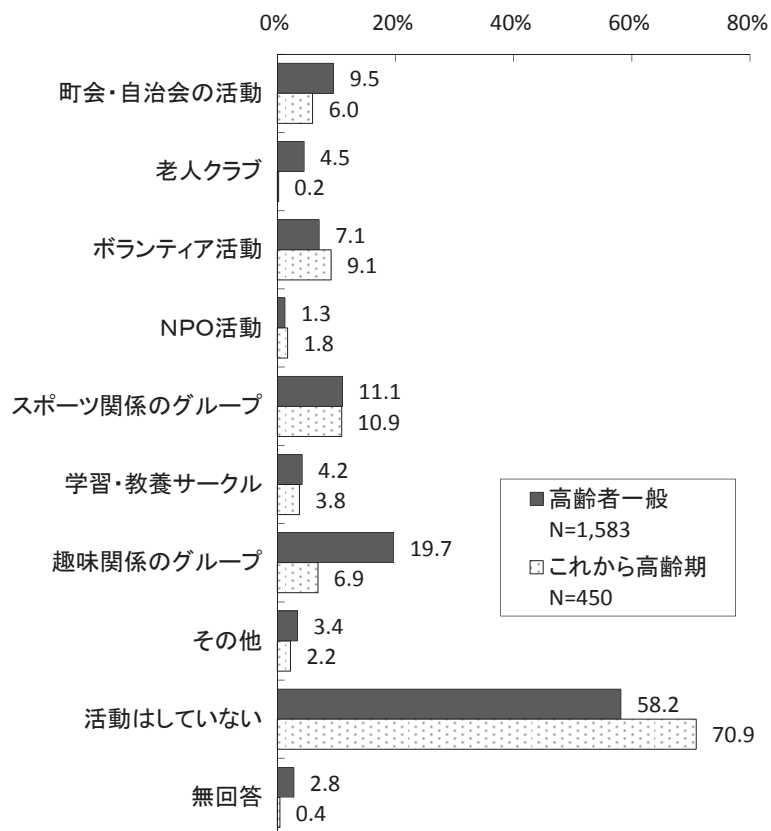


(3) 地域活動への参加状況

① 地域活動への参加状況

- 高齢者一般、これから高齢期ともに「活動はしていない」が約6～7割を占めている。
- 高齢者一般では「趣味関係のグループ」、これから高齢期では「スポーツ関係のグループ」が最も多い。

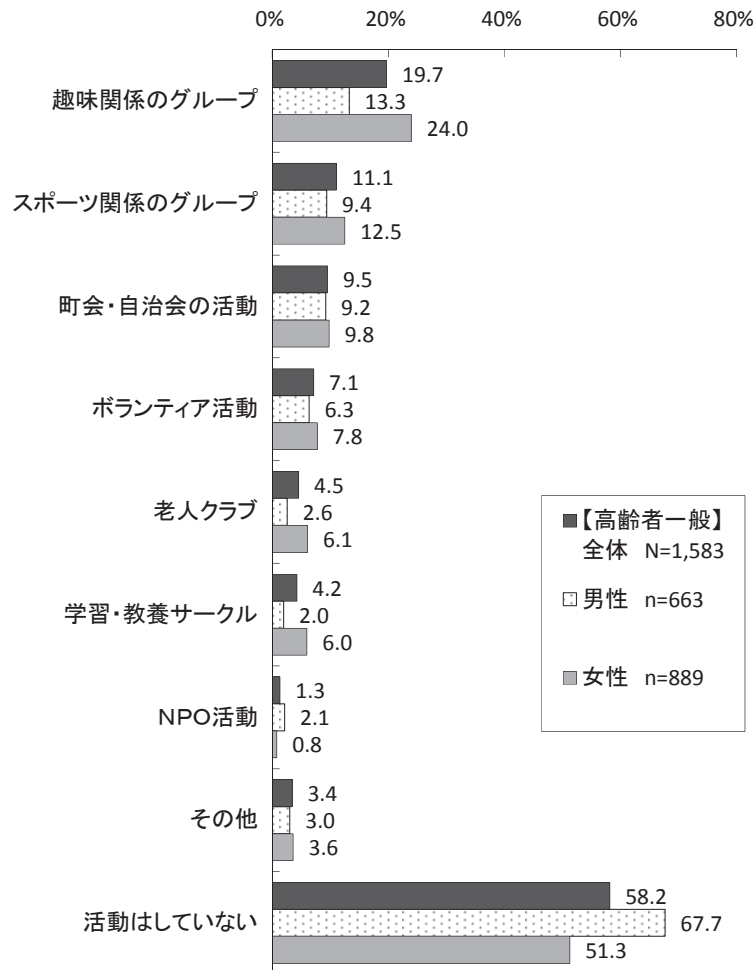
■地域活動への参加状況（複数回答）



【高齢者一般】

○性別にみると、男性では「活動はしていない」の割合が約7割を占めており、女性（51.3%）と比較して高くなっている。

■地域活動への参加状況（複数回答）＜高齢者一般：性別＞

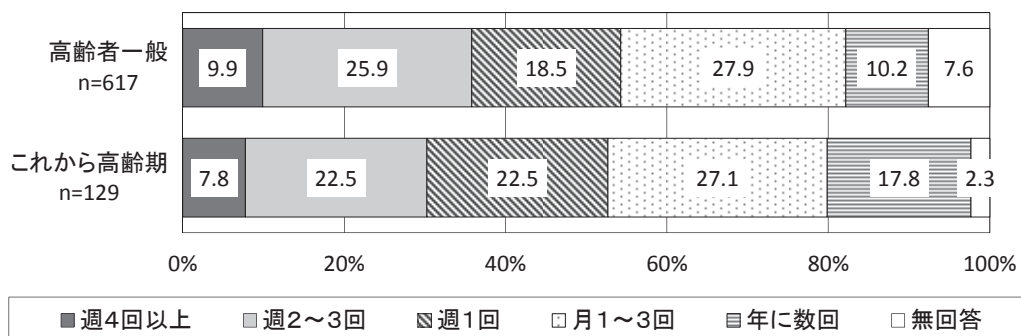


※ 無回答は省略

② 地域活動の頻度

○地域活動への参加状況で「何らかの地域活動に参加している」と回答した人の地域活動の頻度は、高齢者一般、これから高齢期ともに「月1～3回」が最も多く3割弱を占めており、高齢者一般では「週2～3回」、これから高齢期では「週2～3回」と「週1回」が続いている。

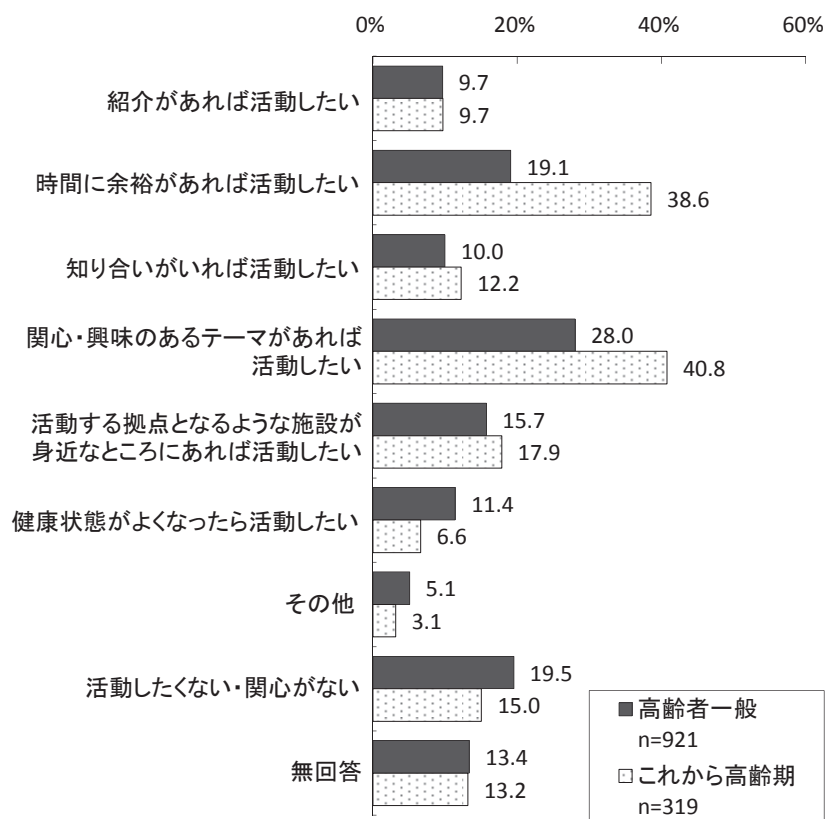
■地域活動の頻度



③ 地域活動に参加するきっかけ

- 地域活動への参加状況で「活動はしていない」と回答した人の地域活動に参加するきっかけは、高齢者一般、これから高齢期ともに「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」が最も多い。
- 高齢者一般、これから高齢期ともに、「活動したくない・関心がない」が2割弱を占めている。

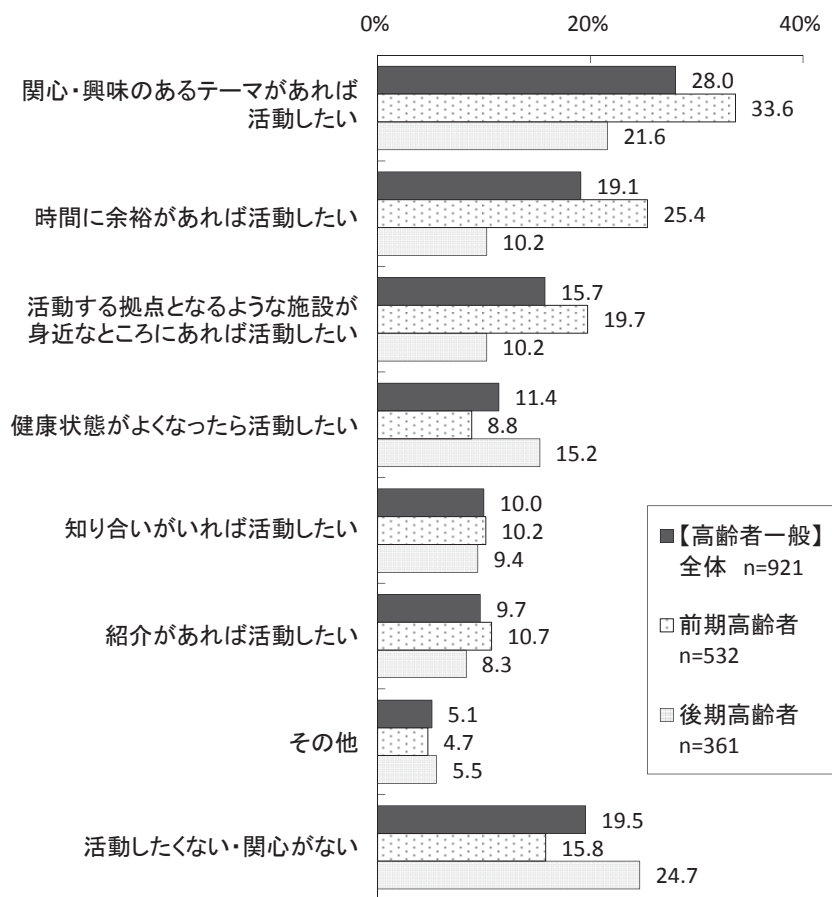
■地域活動に参加するきっかけ（複数回答）



【高齢者一般】

○年齢別にみると、後期高齢者では「活動したくない・関心がない」が2割を超えており、「健康状態がよくなったら活動したい」「その他」を除いた“活動したい”とする全ての回答で、前期高齢者の割合を下回っている。

■地域活動に参加するきっかけ（複数回答）＜高齢者一般：年齢別＞

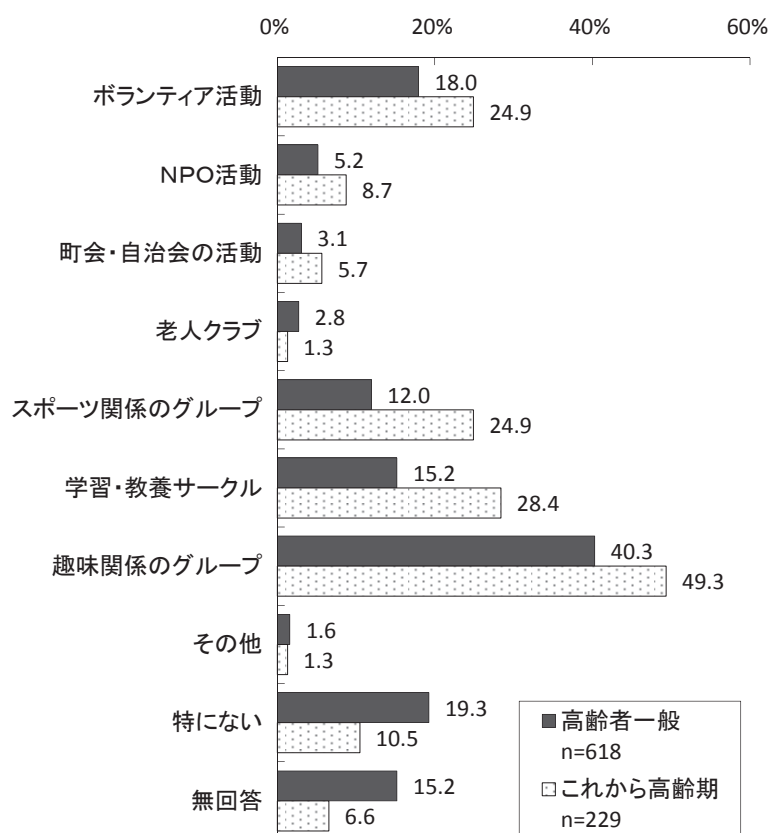


※ 無回答は省略

④ 活動してみたい地域活動の分野

○地域活動に参加するきっかけで“何らかのきっかけがあれば参加する”と回答した人の活動してみたい地域活動の分野は、高齢者一般、これから高齢期ともに「趣味関係のグループ」が最も多い。

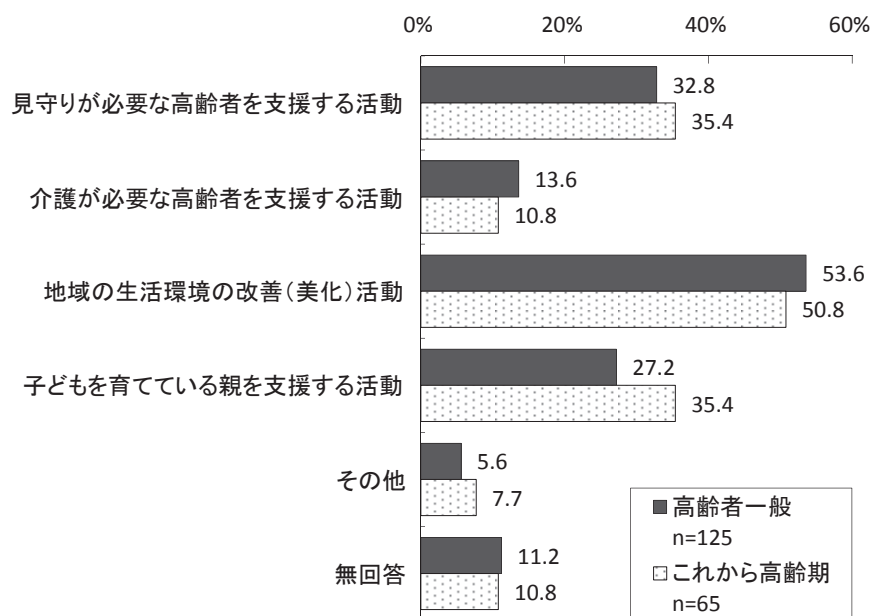
■活動してみたい地域活動の分野（複数回答）



⑤ ボランティア活動・NPO活動の分野

○活動してみたい地域活動の分野で「ボランティア活動」「NPO活動」と回答した人のボランティア活動・NPO活動の分野は、高齢者一般、これから高齢期ともに「地域の生活環境の改善(美化)活動」が最も多く、次いで「見守りが必要な高齢者を支援する活動」「子どもを育てている親を支援する活動」があげられている。

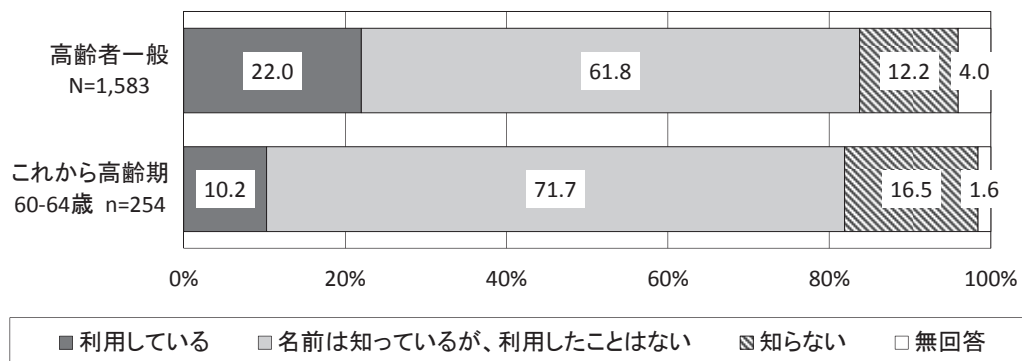
■ボランティア活動・NPO活動の分野（複数回答）



(4) 高齢者センターや敬老館、地区区民館の利用状況

○高齢者一般、これから高齢期（施設利用が可能な60～64歳のみ）ともに「名前は知っているが、利用したことはない」が最も多く、約6～7割を占めている。「利用している」と回答した人は、高齢者一般が22.0%、これから高齢期（60～64歳のみ）が10.2%となっている。

■ 高齢者センターや敬老館、地区区民館の利用状況



(5) 高齢者の社会参加を支援する事業で必要と思う事業

○高齢者一般では「高齢者いきいき健康事業」が最も多く41.9%、次いで「高齢者センター、敬老館、地区区民館の事業」が37.5%、「就労やシルバー人材センターへの支援」が29.5%と続いている。
 ○これから高齢期では、「就労やシルバー人材センターへの支援」が最も多く59.1%、次いで「高齢者センター、敬老館、地区区民館の事業」が44.0%、「高齢者いきいき健康事業」が41.6%と続いている。

■ 高齢者の社会参加を支援する事業で必要と思う事業（複数回答）

